

よくあるご質問と回答

Arcserve Unified Data Protection 8.x Workstation Edition

Q1. Arcserve Unified Data Protection Workstation Edition（以下 Arcserve UDP Workstation と表記）

とはどのようなソフトウェアですか？

クライアント PC のデータを動作させたまま OS から丸ごと保護できるイメージバックアップ製品です。クライアント PC 単体での保護はもちろん、複数のクライアント PC 群の包括的な保護ができます。台数の多い環境でも一元的に運用できる集中管理機能を提供し、さらに、バックアップサーバとなる復旧ポイントサーバ（RPS）を構築するとバックアップデータの重複排除機能や遠隔地へのバックアップデータ転送機能も利用することができるなど豊富な機能を標準搭載しているソフトウェアです。IT の専門知識がなくても簡単に使いこなせ、手ごろな価格で迅速にバックアップ運用が開始できることが大きな特徴です。

Q2. なぜクライアント PC のバックアップが必要なのですか？

クライアント PC は業務を効率的に行うための大事な IT 資産で、最新データや重要データがクライアント PC で運用されている例も多く適切なデータ保護が必要です。また、ウイルスソフトに感染する等の脅威にもさらされ易く、データ汚染のリスクが高いのがクライアント PC のデータなのです。特にランサムウェアなどに感染しクライアント PC のデータを強制暗号化される障害に直面した場合、バックアップデータからリストアを行う方法が最終的に残された対策となるケースも多く、日頃からの適切なバックアップ運用が大変重要となります。

Q3. どのようなユーザが対象ですか？

特定ユーザや業種に限定される製品ではありません。小規模から大規模な環境まで幅広く対応できます。IT の専門知識を持たないユーザや、投資を最小限に抑えつつ必要十分なシステム保護を実現したいユーザ、または台数が多く膨大なデータのバックアップ管理が必要なユーザや、バックアップだけではなく災害対策やビジネス継続も要件にされるユーザにも最適な製品です。

Q4. Arcserve UDP Workstation にはどのような機能が提供されていますか？

Arcserve UDP Workstation は個別のクライアント PC のバックアップにとどまらず、統合管理コンソール画面から複数の保護対象マシンの一元管理できる機能を提供します。i2 テクノロジー搭載による継続的増分バックアップ、また、バックアップデータの重複排除機能、柔軟なバックアップスケジュール設定、バックアップデータの遠隔転送、リモート仮想スタンバイ、テープへのバックアップなど豊富な標準機能が提供されます。

詳しくは製品概要および製品カタログ、製品紹介 Web サイトをご覧ください。

Q5. どのプラットフォームで動作しますか？

Window OS を対象とし、Windows 8, Windows 8.1, Windows 10, Windows 11などをサポートします。

詳細情報は次の Web サイトに掲載しています。

<<https://support.arcserve.com/s/article/Arcserve-UDP-8-0-Software-Compatibility-Matrix?language=ja>>

Q6. バックアップサーバの導入は必須ですか？

Arcserve UDP Workstation はバックアップサーバがない単独の環境でも利用する事ができます。

バックアップサーバ（復旧ポイントサーバ：RPS）を構築すると、マージ・カタログ作成処理の代行や重複排除機能なども利用でき、台数が多い大規模環境でも簡便な運用環境が実現できます。

RPS を保護対象としなければ、RPS を構築しても追加ライセンスは不要です。

Q7. バックアップできるボリュームサイズに制限はありますか？

いいえ。Arcserve UDP Workstation デフォルトの圧縮有の設定なら、ファイルシステムとして持てる最大サイズまでバックアップ出来ます。Arcserve UDP Workstation としての制限はありません。

Q8. バックアップはいつ行くとよいですか？

クライアント PC は業務終了後シャットダウンしている場合が多いため、クライアント PC が起動していて、かつ処理が少ない時間帯（昼休み休憩時間など）にバックアップ処理を設定しておくで業務やネットワークへの負荷軽減が期待できます。アンチウイルスソフト等のウイルススキャンの実行時間とずらすことをお勧めします。

Q9. アンチウイルスソフトやセキュリティ監視ソフトを利用していますがバックアップは問題ありませんか？

アンチウイルスソフトウェアやセキュリティ監視ソフトがインストールされている環境では、Arcserve UDP Workstation のプロセスが動作する際にもスキャンが実施され、バックアップのスループットが低下する場合があります。次の Web サイトで対処について技術情報をご案内しております。

『ウイルス スキャン ソフトの除外設定について』

<<https://support.arcserve.com/s/article/2020060301?language=ja>>

Q10. ユーザの業務を妨げないバックアップ方法はありますか？

バックアップの処理速度を制限（スロットルバックアップ）することができます。バックアップにかかる時間は延びますが、バックアップ中のクライアント PC の CPU やネットワークへの負荷を軽減する事ができます。

Q11. ユーザが勝手にバックアップ設定の変更ができないようにする事はできますか？

Arcserve UDP 統合管理コンソールから、すべてのバックアップ設定をまとめて一括配信し、各ユーザが自分でスケジュールの設定などを変更できないように制限する事ができます。

Q12. ユーザが任意のタイミングでバックアップ、リストア操作を行う事はできますか？

ユーザが OS の管理者権限のユーザ名とパスワードを利用できれば、任意のタイミングでバックアップ、リストアを実行する事が可能です。

ユーザが管理者権限のユーザ名とパスワードを利用できない場合は、任意のタイミングでバックアップは可能ですが、リストア操作はできません。

Q13. クライアント PC でも異機種へのベアメタル復旧はできますか？

異機種のクライアント PC にベアメタル復旧する事ができます。ただし、クライアント PC の中には、ベンダーによってはドライバーが公開されていない機種もあり、ベアメタル復旧で正常に OS が起動できない可能性もあります。異機種へのベアメタル復旧を行う場合は、事前にドライバーの確認や万が一 OS が正常起動できない場合のリカバリ処置の準備を行った上で実施されることをお勧めします。

Q14. 異なる機種にベアメタル復旧するために追加オプションの購入は必要ですか？

Arcserve UDP Workstation は、ベアメタル復旧用に追加オプションは必要ありません。

Q15. 異なる機種にベアメタル復旧する場合、バックアップを行っていたクライアント PC と、復旧先のクライアント PC 双方に Arcserve UDP Workstation のライセンスが必要ですか？

Arcserve UDP Workstation は、追加オプションの必要はありません。尚、OS や他のソフトウェアライセンスについては、ユーザがお持ちの契約に基づきます。各ソフトウェアベンダーにご確認下さい。

Q16. バックアップが失敗した場合、どのような動作をしますか？

スケジュール設定したバックアップのタイミングにクライアント PC が起動していなかったなどの場合、バックアップが失敗します。バックアップが失敗した場合、15 分後にリトライしますが、リトライにも失敗した場合は、次のスケジュールのタイミングに実施する動きとなります。

バックアップ中に、シャットダウンやスリープ、休止状態等によりバックアップジョブが強制中断されると、次回のバックアップが検証バックアップ（整合性チェックを行う）となり、検証結果によって整合性が損なわれたと分かった場合、フルバックアップが行われます。

Q17. 拠点に配置しているクライアント PC を WAN 越えの保管先にバックアップする事はできますか？

WAN 越えのバックアップは設定可能ですが、ご利用のネットワーク状況によってバックアップが失敗する場合があります、お勧めしておりません。

災害対策などで遠隔地へのデータ転送を行う場合、転送元と転送先に RPS を構築し、バックアップデータの転送（レプリケート）をする構成をお勧めいたします。

また、クラウド バックアップ サービスの “Arcserve UDP Cloud Direct” をご利用いただくことで、Arcserve が提供するクラウドサービスにインターネット経由で直接バックアップしていただくことが可能です。

『Arcserve UDP Cloud Direct ご紹介』

<<https://www.arcserve.com/jp/ucd-presentation.pdf>>

Q18. Arcserve UDP Workstation のバックアップできる単位は？

ボリューム単位、または、クライアント PC 全体です。

Q19. Arcserve UDP Workstation のリストアできる単位は？

ファイル単位、フォルダ単位、ボリューム単位、クライアント PC 全体でリストアできます。

ベアメタル復旧は、ボリューム単位（C:ドライブは必須、その他のドライブは選択可能）、クライアント PC 全体です。

Q20. USB の外付けハードディスク内のデータをバックアップできますか？

USB の外付けハードディスク内のデータのバックアップはできません。

**Q21. Windows Encrypting File System(EFS)またはサードパーティの暗号化システムを利用している場合、
バックアップできますか？**

Windows EFS 暗号化の場合、Arcserve UDP Workstation では EFS で使用している暗号化形式および BitLocker 形式で書き込みします。サードパーティの暗号化の場合は、そのテクノロジーによります。ボリュームの暗号化が有効化またはロックされている場合、読み取ることができずバックアップ、または、リストアができない場合があります。

Q22. メールやアプリケーションを利用しているバックアップできますか？

Arcserve UDP Workstation は、VSS のスナップショットのテクノロジーを利用して、クライアント PC を利用中でもバックアップが可能です。

Microsoft 365 の Exchange / SharePoint / OneDrive のバックアップについては、別製品で Arcserve UDP Microsoft 365 10 Users（サブスクリプションライセンス）も販売しております。

**Q23. Arcserve UDP Workstation には、Host-based VM backup と仮想スタンバイの機能が含まれているの
でしょうか？**

Arcserve UDP Workstation は Host-based VM backup を実行する機能を提供していません。Arcserve UDP Agent をライセンス対象のクライアント PC にインストールすることで、仮想スタンバイを利用できます。